

# 第50回京都コンテスト コンテストレビュー

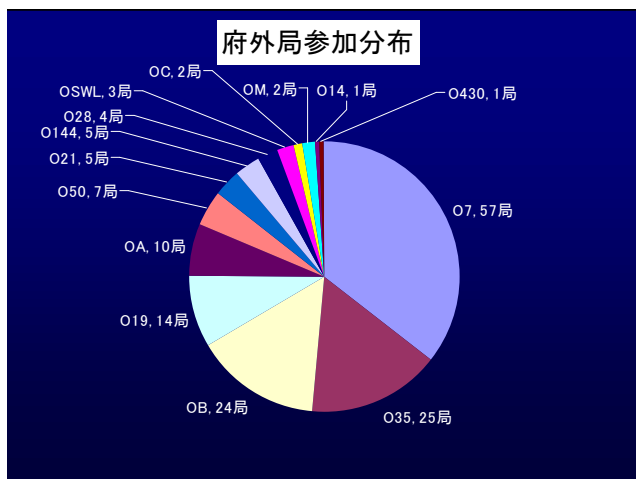
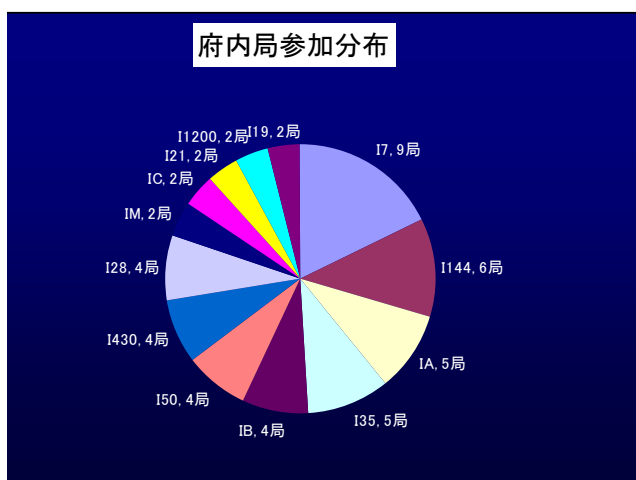
2006年2月4日(土) 20:00~2月5日(日) 16:00

京都コンテストは1.9MHzから5600MHzと幅広く各バンドで運用時間が区切られているためマルチバンドで参加し、上位に入賞するためにはどのような時間配分でどのバンドに参加をするかが入賞の鍵になります。今回、府内局各部門1位の方のログ情報を元にコンテストレビューを作成しました。次年度以降のコンテスト参加時にご活用下さい。

## 参加局数について

今回の京都コンテストは府内局は51局(昨年比-4局)でしたが府外局は第50回ということもあり160局(昨年比+24局)と多くの参加局がありました。それぞれの参加局のエントリー部門は以下の通りです。なお府内局は14MHz,2400MHz,5600MHz部門、SWL部門でのエントリー局がありませんでした。(前年度は府内局28MHz部門が参加者なし)

	参加部門	参加部門コード	参加局数
府内局	マルチA部門	IA	5
	マルチB部門	IB	4
	マルチC部門	IC	2
	1.9MHz部門	I19	2
	3.5MHz部門	I35	5
	7MHz部門	I7	9
	14MHz部門	I14	0
	21MHz部門	I21	2
	28MHz部門	I28	4
	50MHz部門	I50	4
	144MHz部門	I144	6
	430MHz部門	I430	4
	1200MHz部門	I1200	2
	2400MHz部門	I2400	0
	5600MHz部門	I5600	0
府外局	社団局部門	IM	2
	SWL部門	ISWL	0
	マルチA部門	OA	10
	マルチB部門	OB	24
	マルチC部門	OC	2
	1.9MHz部門	O19	14
	3.5MHz部門	O35	25
	7MHz部門	O7	57
	14MHz部門	O14	1
	21MHz部門	O21	5
	28MHz部門	O28	4
	50MHz部門	O50	7
	144MHz部門	O144	5
	430MHz部門	O430	1
	1200MHz部門	O1200	0
2400MHz部門	O2400	0	
5600MHz部門	O5600	0	
社団局部門	OM	2	
SWL部門	OSWL	3	





京都府内で 福知山市、綾部市、乙訓郡、与謝郡の交信マルチがありませんでした。他の参加者の電子ログデータを確認しましたが上記マルチを獲得された参加者はいませんでした。来年度府内局の方は上記マルチからの運用を積極的にお願いたします。また府外のマルチとしては、やはり8エリアのマルチの獲得が難しいようです。

上記マルチマップには QSO の記録はありませんが日高支庁からは JR80XN 局が、また山梨は JH1ANW、JM1XYJ、7M2MNU 局とのQSOが他の府内局で記録されております。

(両マルチとも 7MHz) 全国的にマルチを獲得する為にはコンディションにもよりますが 7MHz 以下のローバンド運用は必須です。

# 意見・コメント

サマリーシートの意見欄に記入されたコメントを収録しました。文字の間違いを修正または、語句の統一を行っているほかは記入された通りに掲載しております。ぜひ、2007年も京都コンテストに参加していただくとともに、サマリーシートに御意見や御感想を書いていただき、写真なども寄せていただきたいと思います。

## <府内局> マルチ A 部門

**JF3PLF/3:**

インフルエンザかも知れない……という体の火照りやのどの痛みと闘いながらのコンテストでした。

**JA3HC:**

コンディションが悪かったです。Jarl News が季刊になったためか、コンテストナンバーを勘違いしている局が多かった。

## マルチ B 部門

**JH3MKP:**

得点より交信局数に満足しています。

## マルチ C 部門

**J16DUE/3:**

今回3回目の参加でした。昨年はマルチ C で入賞できましたが今年は 難しそうです。どこまでいけたかわかりませんがとりあえずがんばりました。

## 1.9MHz 部門

**JS1PWV/3:**

3.5MHz と 1.9MHz に参加しました。

## 3.5MHz 部門

**JS1PWV/3:**

昨年引越してきて初めて京都から電波を出しました。

**JK3LZI:**

年々参加局の減少を感じる。府内局への参加依頼等してもり上げたいものです。又今回で 50 回を数えるこのコンテスト 2 月のこの時期に 50 回も実施し、電波の伝搬状況もつかめたかと思えます。これを期に雪のある北部にもハンディーのない時期の開催を期待する。

## 7MHz 部門

**J13DNN/3:**

初めて八幡市に行きました。かわきた運動公園の入口付近でQRVしました。参加者数は減ってますかね。

**JA4JY/3:**

昨年に比べて交信局数が極端に少なく残念でした。

**JK3LZI:**

京都府北部からは 3.5MHz、7MHz以外で交信はほぼむりでした。21MHzで亀岡の局と交信できただけです。28MHzも全くダメでした。ハイバンドのコンディションのよい時期にも京都コンテストをやってみたいです。

**JL3CRS/3:**

コンテスト運営お疲れ様です。今回はじめて電子メールで提出します。

**JN3KST/3:**

ほぼ9割方電信でしたが、コンテストの参加部門を見て、電信のみでは上位入賞は無理だなと悟りました。移動局は50ワットなので、とても固定局には勝てません。電信部門を作ってください。宜しくお願いします。でも南丹市移動は沢山呼んでもらいました(^o^)

## 府内局 28MHz 部門

**JA4JY/3:**

コンディションが悪く、近くの局しか呼ばれず一寸淋しかったです。

## 府内局 50MHz 部門

**JL3CRS/3:**

コンテスト運営お疲れ様です。今回はじめて電子メールで提出します。

## <府外局> マルチ A 部門

**JF2FIU:**

集計審査ご苦労様です。

**JA3RSJ:**

各局QSO、TKS

**JF3CHM:**

交信頂いた方、ありがとうございました。次回もどうぞ、よろしく御願います。

**JL2PCI/3:**

電信、MIX、電話部門があればいいなあ！

**JN3ANO:**

各局 ありがとうございます。

**JA3AA:**

京都コンテスト第 50 回開催おめでとうございます。その 50 回記念に参加できたことを大変喜んでます。

## マルチ B 部門

**JA1UKF:**

短い時間の参加でしたが、雰囲気を楽しめました。

**JA6DH:**

出来れば電信と電信電話部門に分け、ログ提出はどちらか一方に出来ませんか。

**JA1FWY:**

お世話になります。電波伝搬が悪かったようです。次回もよろしくお願ひ致します。有難うございました。

**JA0ITY:**

午前中の 21M、28M、50M帯全く聞えませんでした。この波は夏場へ移行していただいた方が良くと思います。

**JA7AEM:**

昨年と同じ程度の結果に終わりました。

**JA7LLL:**

久しぶりに参加しました。1.9MHz は聞こえなかったのでアンテナの改善が必要です。

**JA6FOF:**

電信部門を是非お願いします。

## 1.9MHz 部門

**JA1VVH:**

コンディションが良かったので何とかQSO できました。

**JM1LRQ:**

貧弱なベランダアンテナで参加したため、なかなか拾ってもらえず苦労しました。か細い信号を拾っていただいた京都の局に感謝いたします。

**JK2VOC:**

パイルが大きく1時間以上空白の時間になってしまいました。(飛ばない)

**J12GVL:**

今年も楽しく参加しました。

**JH4JUK:**

LOWバンドもノイズが多くアンテナも短いので交信数も少なかった。

**JE3HAT:**

集計ご苦労様です。

**JA1XEM:**

今年もどうか参加できました。

## 3.5MHz 部門

### JH6KDY:

集計御苦勞様です、余りコンディションが良くないようでした、又参加したいと思いを。

### JH4JUK:

LOWバンドもノイズが多くアンテナも短いので交信数も少なかった。

### JA0GSG:

集計、ご苦勞様です。静かなコンテストだった気がします。

### JA3QG:

電信のみの参加でしたが、府内局が少なく寂しい感じがしました。

### JG1GCO:

50回おめでとうございます。

### JH2CMH:

50 回目の開催おめでとうございます。短時間でしたが記念に参加いたしました。

### JM1LRQ:

途中でコンテストに気が付き、後半だけの参加でした。

### JR0GSJ:

初めての参加です。8局しか出来ませんでした。

### JR2AWS/1:

去年は、自分のミスでログ消失!提出できずに残念でした。

### JR5PPN:

お世話になります 少ない交信局数ですがログを提出しますがよろしく願います 次回も楽しみにしています

### JR7HOD/1:

京都府の市郡区を狙って参加しました。ローバンドの 局数はなかなか伸びませんでした

### JK2VOC:

以前にくらべて府内局が少なくなった感じがします。

## 7MHz 部門

### 7L4SCQ:

コンテストに気づくのが遅れました。QS0 は 1 局だけでしたが、せっかくコンテスト NO を交換したのでログを提出します。

### JA3QG:

電信のみの参加でしたが、府内局が少なく寂しい感じがしました。

### JA6EX:

京都コンテストに始めて参加させて頂きました。九州地区の各県コンテストに比べて京都の局は元気であることを感じました。

### JA6JCL:

京都各局との交信、非常に楽しめました。短時間でしたが、賑わっておいりました。

### JA5IDV:

集計ご苦勞様です。ちょい参加ですみません

### JA4BDY:

ごく短時間の参加ですがログ提出します。集計お世話になります。修正して再々送です。

### JA2PYD:

コンディションも悪く、QRMも多く大変だった。最初の参加です。

### JA1XEM:

少しだけの参加になりました。

### JA1JUR:

初めて参加させて頂きました。

### JA1COP:

ユニークなルールでFBです。

### JH0QYS:

HFコンディションが悪く、3エリアがなかなか聞こえず残念でした。また来年もぜひ参加させて頂きたいと思っております。

### JA1HIY:

この日の空は割と賑やかでした お陰様で有意義な交信出来ました、感謝致します。

### JJ1XQU:

集計ご苦勞様です

### JF1ABZ/1:

数分でしたが、コンテストに参加できました。晴れていても、風で寒く感じました。

### JE3HAT:

集計ご苦勞様です。

### JQ2CZJ:

コンディションが悪かったのか、あまり交信できませんでした。

### JN4UUS:

1回しかないニューカマーのチャンスなので頑張りました。ただルールとして、マルチの計算がややこしいのと、ニューカマー係数×3は見直す余地があると思います。

### JL7FBV:

QRMがすごかった。来年も参加したいです。

### JJ1TML:

京都の方が沢山出ていらっやったので、数は少ないですがコールさせて頂きました。7Mは最近始めた事もあり、京都コンテストは初参加ですが、時間的に参加しやすいコンテストだと思いました。なお、ボランティア番号がマルチに計算されると言うところが少し分かりづらかったので、具体的なログシートの例を載せて頂くところより分かりやすくなると思います。

### JJ1HF:

ログ提出者のコールサインは、たとえ1点でもJARL NEWSに載せていただきたいと思います。紙面の効率化という理由で、入賞者以外をカットするのは、アマ無線の活性化に反すると思います。

### JH7OUW:

やっと 17 局と交信できました。

### JH7BYC:

コンディションが良くない今日このごろですが短い時間たのしかったです。

### JH2HUQ:

第 50 回とは歴史を感じますがコンディションが安定せず苦勞しました。又参加局数の維持が難しい様です。各地方支部・県支部でコンテストの取組みを再考する時期ではないかと思いを。

### JF6DJA:

集計作業ご苦勞様です。

### JN4JJJ:

初めて京都コンテスト参加でした。

## 14MHz 部門

### JM3XHD:

1200MHz~2400MHz でも参加しましたが、全く聞こえませんでした…。やはりマイクロ帯は参加者がいないのでしょうか。

## 21MHz 部門

### JA3IUB:

京都コンテストは時間が短くて気軽に参加出来ます。参加する周波数を決め、午後からは自由時間があります。また、電子ログも便利です。

### JR3AAZ:

初めての参加です。不備がありましたらお知らせください。時間制の為賑やかでした。

## 28MHz 部門

### JR3AAZ:

初めての参加です。不備が有りましたらお知らせください。時間制の為賑やかでした。

### JA3IUB:

京都コンテストは時間が短くて気軽に参加出来ます。参加する周波数を決め、午後からは自由時間があります。また、電子ログも便利です。

## 144MHz 部門

### JA3QVQ/3:

14MHzもQSOLしたかったが、1局も聞えなかった。コンディションか局が無かったのかは不明ですが、残念でした。

### JM3XHD:

1200MHz～2400MHzでも参加しましたが、全く聞こえませんでした…。やはりマイクロ帯は参加者がいないのでしょうか。

## 編集後記

大変遅くなりましたが、第50回京都コンテストのコンテストレビューをお届けします。

このコンテストレビューは初の試みでできれば入賞局のレポートも掲載させていただきたかったのですがレポートを依頼する際どのような内容で原稿依頼すべきか、また個人情報保護についての協議を行う過程で原稿を依頼するチャンスを逸してしまい、残念ながら今回は入賞局のレポートは見送らせていただきました。

来年はさらに内容を充実し、皆さんの参考していただけるよう検討していきたいと思っております。では来年の京都コンテストでお会いできることを楽しみにしています。

第50回京都コンテスト

コンテストレビュー

発行：JARL 京都府支部, JARL 京都クラブ

(kt-testqa@ja3yaq.ampr.org)

発行日：2006年6月

編集者：J I 6 D U E / 3 野原 英則